

平成三十年度 江戸川看護専門学校 入学試験問題

国語  
(第二回試験)

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験官の指示に従うこと。

一

次の①～⑩の各文中の傍線部のカタカナを漢字にせよ。

- ① 荒地地をカイコンする。
- ② 胸部にシツカンがある。
- ③ 情けヨウシヤがない。
- ④ ケイシヨウを鳴らす。
- ⑤ ジョウザイを服用する。
- ⑥ スイジ当番を決める。
- ⑦ 病気でスイジャクする。
- ⑧ 代金をセイキユウする。
- ⑨ 選手をゲキレイする。
- ⑩ 森林のバツサイ。

二

次の①～⑤の言葉の意味を選択肢から選び、記号で答えよ。

- ① オーソドックス
- ② マイノリテイ
- ③ ヒューマニズム
- ④ ハラスメント
- ⑤ シンボル

- ア 通過儀礼  
イ 象徴  
ウ 少数派  
エ 人道主義  
オ 正統派  
カ 嫌がらせ

三

次の( )の中のカタカナを漢字にして四字熟語を完成させよ。

- ① 一攫(センキン)を夢見て異国に旅立った。
- ② 時代劇は(カンゼン)懲悪なストーリーが多い。
- ③ バッターが(キシ)回生のホームランを打つ。
- ④ その計画には(イッチョウ)一短がある。
- ⑤ (シンキ)一転、新しい生活を始める。

**四**

次の語句の意味として最も適切なものをそれぞれの選択肢から  
選び、記号で答えよ。

① 忸怩たる思い

ア くよくよと落ち込んでいる心情

イ じっくりと物事に取り組む覚悟

ウ 深く反省して恥じる心情

エ つらいことにじっと耐える覚悟

② 鼓舞

ア 優美な舞い

イ 人を励ますこと

ウ 大げさに言いふらすこと

エ 日本の伝統芸能

③ 自嘲

ア 行動を慎むこと

イ 自らを奮い立たせること

ウ 自分で進退をきめること

エ 自分を軽蔑してあざ笑うこと

④ 真摯

ア まじめでひたむきな様子

イ 本当の姿

ウ 値打ちのあるもの

エ 奥の手

⑤ 語弊

ア 価値のある言葉

イ 表現豊かな言葉

ウ かしこまった言い方

エ 誤解を招いてしまう言い方

**五**

次の語句の対義語を後の語群から選び、カタカナを漢字にして答  
えよ。

① 必然 …… ( )

② 結果 …… ( )

③ 模倣 …… ( )

④ 複雑 …… ( )

⑤ 人工 …… ( )

**【語群】**

テンネン・グウゼン・ゲンイン・タンジュン・ソウゾウ

**六**

次の文学史について各設問に答えよ。

① 次の選択肢の中から谷崎潤一郎の作品を一つ選び、記号で答えよ。

ア 或る阿呆の一生

エ 生まれ出づる悩み

イ 痴人の愛

オ 沈黙

ウ 鼻

② 次の選択肢の中から井伏鱒二の作品を一つ選び、記号で答えよ。

ア カインの末裔

エ 故郷

イ 海と毒薬

オ 黒い雨

ウ 細雪

③ 次の選択肢の中から太宰治の作品を一つ選び、記号で答えよ。

ア 夢十夜

エ 金閣寺

イ 草枕

オ 宴のあと

ウ 斜陽

## 七

次の文章を読んで後の問一～問六の設問に答えよ。

句読点も一字として数えるものとする。

場の① 平衡状態を上手に維持する方策として、場のなかの人間に完全な順序を確立しておくことが考えられる。つまり、場のなかで意思決定が行われるとき、場のなかの個人々人がその欲求を勝手に述べたのでは場の平衡が保たれぬので、順序の上のものから発言することによって、それを避けようとするのである。

それがもつとも簡単な場合は、一番上席のものが意思決定し満場一致でそれに従う場合である。もちろん、そのように簡単にゆかぬことも多いので、いろいろと意見が出る場合もあるが、そのときに厳密に順序が確立している方が非常に便利なのである。

ここで大切なことは、この順序の確立は、あくまで場の平衡状態の維持の原則を② 遂行する方策として生じてきたもので、個人の権力や能力によって生じたものではないということである。このような特殊な状態を、社会構成としてみたとき、中根千枝が既に明確に分析しているように、いわゆる「タテ社会」の人間関係をつくることになる。このタテ社会においては、順序が上になるほど、場の平衡状態の維持という根本倫理を守る責任が大となってくる。

A、タテ社会において上のものの意見に対して、下から反対することは非常に難しいが、さりとて上のものが全く身勝手なことを要求することも難しいのであり、彼らは下のものの気持ちを察することによって、場の平衡を維持するという義務を、不文律として背負わされているのである。

## B

このような場のなかでは、個の倫理からみれば不都合なことが多く、タテ社会の下位に位置するものが、そのような観点から意見を述べたり、批判を行ったりしても、まず取りあげられないことが多い。C、上位のものは場の倫理に従うために、「君のいうことはよく解る」とか、「もつともな意見だ」とさへ言うことがある。これはまづ場の形成には、お互いの感情的結びつきが土台となるので、決して相手に明確な反対をしてはならないからである。そして、もつともだといしながら、その意見に従おうとしないので、下位にいる若者は立腹する。しかし、上役の力が強くて結局は③ クップクさせられた形に終わってしまう。

ここで、多くの場合、若者は、それを上役の権力によるものと思いがちである。彼はそこに権力による管理を認めて、それに反逆しようとする。しかし、これはむしろ誤解であり、上役は④ 西洋人がいう意味での権力など持っていないのである。ただ、彼は全体の場の平衡という力学に沿っているかぎり、非常に強力なのである。場の力学を背負うものとしての強さをもっているだけで、個人としての強さをもっているわけではない。

タテ社会の下位のものが、場の力にあえいでいるとき、実は上位にいるものも同様の辛さを経験しているときがある。彼らは場の全体について配慮をせまられるので、なかなか自分の欲することができないのである。これは、西洋のリーダーと日本のリーダーの役割を比較すると、はっきりと解ることである。西洋においては、リーダーと部下との間が契約によって明確に想定されているので、それに従って、自分の意志を十分に遂行できる。そして、それに従わぬものは契約違反として④ ハイジヨ

することができるのである。これに反して、日本のリーダーは厳密な意味でリーダーではなく、本来は「世話役」なのである。

このことに気づいていない日本の上役は、せっかく自分の上位の位置を<sup>⑤</sup>カクトクしても、なかなか自分の思いどおりに事が運ばないとなると、これは近頃の若者が身勝手なためであると考えて、嘆くことになる。かくて、まことに<sup>⑥</sup>キミヨウなことであるが、日本では全員が――上位のものも下位のものも――**a**であるわが身を嘆くことになる。上位のものは下位のものの不道徳を、下位のものは上位のものの権威的であることをお互いに嘆き、共に**b**意識を強くする。

しかし、実のところは両者ともに間違っている。日本ではすべてのものが場の力の**c**である。この被個人的な場が**d**であることに気がつかないので、**e**達はおたがいに**f**を見出そうとして押し付け合いを演じることになるのである。

場の構造を権力構造としてとらえた人は、それに反逆するために、その集団を抜け出して新しい集団、彼らの主観に従えば反権力の集団をつくる。ところが既述のような認識にたっていないため、彼らの集団も日本的な場をつくることになる。そして、既存の集団に対抗する必要上、その集団の<sup>⑦</sup>凝集性を高めねばならなくなるので、その「場」のしめつけは既存の集団より強力にならざるを得ない。このため、「革新」を目ざす集団が、その主義はともかくとして、集団構造は極めて保守的な日本的構造を持たざるを得ないという、パラドックスが生じてくるのである。

(河合隼雄『働き盛りの心理学』より)

\*平衡……バランス      \*中根千枝……人類学者

\*不文律……黙っていても、その組織の各員が承知して守っているおきて

\*パラドックス……逆説

問一 二重傍線部①～⑦のカタカナを漢字に、漢字は読みをひらがなで答えよ。

問二 文中の空欄**A**～**C**に入れるのに適切なものをそれぞれ次の選択肢から選び、記号で答えよ。

ア 但し    イ つまり    ウ また    エ しかも  
オ ところが

問三 傍線部i「場の平衡状態」について。

①「場の平衡状態」とはどのような状態かを説明した次の文の空欄に入る四字の言葉を探し、文中から抜き出して答えよ。

場のなかで( )が混乱なく行われる状態。

②「場の平衡状態」を維持するために必要なこととはどのようなことか。文中から二カ所探し、文中の表現を用いて説明せよ。

問四 傍線部 ii 「西洋人がいう意味での権力」とはどのようなことか。  
文中の表現を用いて説明せよ。

問五 傍線部 iii 「世話役」とあるが、それはどのようなことをするのか。  
本文中の傍線部 iii と同じ段落から解答欄の「すること」につながる  
形で十字で探し、抜き出して答えよ。

問六 文中の a } f に入れるのに適切な語を次のいずれかか  
ら選び、それぞれ記号で答えよ。

ア 加害者      イ 被害者

国 語 (第二回試験)

受験番号

氏名

得点

七						六	五	四	三	二	一		
問六	問五	問四	問三		問一		①	①	①	①	①	⑥	①
a			②	①	⑥	①							
							②				②		
b								②					
									②			⑦	②
c					⑦	②	③		③		③		
d								④			④		
									③			⑧	③
e					問二	③							
					A						⑤		
f	するじ。				B							⑨	④
						④							
					C								
												⑩	⑤
						⑤							